

7・11 天神峰檜の木まつりへの連帯メッセージ

6月8日の請求異議裁判での上告棄却を徹底弾劾します。成田空港は誰が見ても第三滑走路や滑走路の拡張は必要ありません。まして市東さんの農地取り上げの根拠は崩壊しています。

本日の檜の木まつりが、「開拓百年の時代を生きてきた檜の木のように、抵抗の根を広げ」、「農民の誇りにかけて農地を守る市東さんの怒りと決意を共にする」ものとして、大成功されることを祈念します。

同じ場所で行われた新年旗開きに参加させていただき、農地決戦への新たな決意をした時のことを思い出します。

本日関空の地元泉佐野では、「オリンピックを中止しろ！ コロナを使って改憲するな！ 関空を戦争に使わせない！ 7・11集会&デモ」を行っています。三里塚闘争と固く連帯して闘います。

関空も去年は92%も旅客が減り、関西エアは345億円の赤字。そこで生み出されたのは、高校や大学を卒業して関空に勤めていた青年労働者や学生や女性、シルバーの多くの方々の解雇です。航空券受付のカウンターやリムジンバスエリアには労働者はゼロ、売店も少ししか開いていない、国際線エリアは真っ暗。国内線も往来する人は数十人。その一方で、2025年万博のための第一ターミナルビル南半分の改修工事は700億円もかけて開始しているのです。

関空は労働者住民のためのものではなく、資本家の金儲け、「国策」として莫大な税金を使っても維持し、戦争の兵站基地として確保する、政府・財界の意図は明確だと思います。

三里塚闘争と固く連帯し、1980年泉佐野新空港に反対する会発足以来足かけ41年、国賀さんががんばった36年の闘いを引き継いで、日米帝国主義の中国侵略戦争を阻止する闘いとして、関空を戦争に使わせない闘いを貫きます。

裁判闘争や現地にたまにしかかけつけられないことを心苦しく思いますが、反対同盟のみなさんと心は一つ、ともに闘います。

7月7日の京都大学での処分粉碎集会に参加させてもらい、200名ぐらいの学生が集まり、大学の自治圧殺、学生処分攻撃に対して、「京都大学からこの社会のありようを変えていく」と、本気の決意表明が次々されて、とても感動しました。高田君や二川君のような人が続々です。未来は明るい！と確信しました。ともに闘い勝利しましょう。